

平成26年度一般会計予算のあらまし

1 予算編成の基本

本町の財政状況は、町税収入の本格的な回復が遅れる一方、社会保障関係経費である扶助費の歳出が増加を続けるなど、依然として厳しい状況下にあるが、町の今後の発展の鍵となる新名神高速道路の開通を見据え、次世代のまちづくりの基盤となる宇治田原山手線や新庁舎の整備をはじめ、防災・減災対策、福祉施策の充実、産業・観光振興、教育の充実といった重点施策に積極的な財政出動を行うことにより、単年度予算としては平成17年度以来9年ぶりに40億円を超える積極型予算を編成。

2 予算規模

平成26年度当初予算 41億4,800万円（対前年度比2億7,900万円（7.2%）増）

3 収支見通し

(1) 歳入

○町税収入 385万円増（対前年度比0.3%増）

15億2,470万円（㊦15億2,085万円）

- 個人町民税の増 48万円（0.1%増）
- 法人町民税の減 △1,095万円（△7.7%減）
- 固定資産税の増 1,204万円（1.4%増）

○地方交付税 7,000万円増（対前年度比8.5%増）

8億9,000万円（㊦8億2,000万円）

- 普通交付税の増 7,000万円
- ・基準財政収入額の減等による

○臨時財政対策債 △1,490万円減（対前年度比△5.7%減）

2億4,550万円（㊦2億6,040万円）

○地方譲与税、各種交付金 890万円増（対前年度比4.2%増）

2億2,080万円（㊦2億1,190万円）

- 地方消費税交付金の増 1,980万円
- 配当割交付金の増 270万円
- 自動車取得税交付金の減 △730万円
- ゴルフ場利用税交付金の減 △360万円

(2) 歳 出

① 義務的経費の推移

○人 件 費 **△348 万円減**（対前年度比 **△0.4%減**）

9 億 4,326 万円 (㉕ 9 億 4,674 万円)

□特別職（副町長）給与の減 **△959 万円**

□新規採用職員の増員等に伴う職員給の増 **614 万円**

○扶 助 費 **3,870 万円増**（対前年度比 **8.2%増**）

5 億 984 万円 (㉕ 4 億 7,114 万円)

□障がい者自立支援給付の増 **1,659 万円**

□老人医療費給付の増 **854 万円**

○公 債 費 **△951 万円減**（対前年度比 **△2.3%減**）

4 億 68 万円 (㉕ 4 億 1,019 万円)

□道路債、まるやま交流館建設事業債等の償還終了

＊地方債残高 ㉖39 億 8,894 万円 ㉕39 億 6,234 万円

※㉕㉖残高については見込額

② 投資的経費の推移

○普通建設事業費 **1,075 万円増**（対前年度比 **3.3%増**）

3 億 3,597 万円 (㉕ 3 億 2,522 万円)

□宇治田原山手線整備事業、集落内生活道路改良事業、河川改修事業、大福茶園再造成事業など

○災害復旧費 **1 億 660 万円増**（対前年度比 **914.7%増**）

1 億 1,825 万円 (㉕ 1,165 万円)

□平成 2 5 年発生農林業施設災害復旧事業の増

③ その他の経費の推移

○物 件 費 **8,335 万円増**（対前年度比 **13.9%増**）

6 億 8,196 万円 (㉕ 5 億 9,861 万円)

□各種予防接種実施、第 5 次まちづくり総合計画策定に係る委託料の増など

○補 助 費 等 **4,927 万円増**（対前年度比 **8.1%増**）

6 億 5,743 万円 (㉕ 6 億 816 万円)

□国補正予算に伴う臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の増など

○繰 出 金 **1,494 万円増**（対前年度比 **3.2%増**）

4 億 7,564 万円 (㉕ 4 億 6,070 万円)

□国民健康保険特別会計繰出金の増 **1,466 万円**

□介護保険特別会計繰出金の増 **845 万円**

□公共下水道事業特別会計繰出金の減 **△971 万円**

4 予算要求時における財源不足

収支不足額 △3億5,300万円

5 財源対策

内部管理経費の見直し等の歳出削減を図るとともに、国・府の交付金や財政調整基金を活用することにより、歳入減を補い、重点対策を推進する新規・拡充事業等に必要な財源を捻出。

(1) 財政改革の取組

持続可能な健全財政の確立のため、全庁一丸となって、業務の選択と集中や経常経費の見直し等の財政改革を推進。

○削減等総額 △8,800万円

- 事業実施時期の再検討 △1,020万円
- 事業内容の精査・見直し △4,250万円
- 施設運営経費の削減 △910万円
- 各種事務経費の削減 △1,070万円
- 組織運営体制の見直し △1,550万円

(2) 財源の確保

- 国の元気臨時交付金（公共施設整備基金） 5,650万円
- 京都府みらい戦略一括交付金 3,850万円
- 財政調整基金の活用 1億7,000万円

〈参考〉

[地方債残高]

(単位：万円)

	H26 (見込)	H25 (見込)	H24	H23
地方債残高総額(a)	398,894	396,234	397,170	400,778
臨時財政対策債(b)	213,261	200,709	188,133	175,966
実質残高(a-b)	185,633	195,525	209,037	224,812

※町の負債である事業債（実質）残高は減少傾向にあるが、国より交付される地方交付税の代替財源である臨時財政対策債の発行が増加。

[基金残高]

(単位：万円)

	H26 (見込)	H25 (見込)	H24	H23
基金総額	240,471	267,241	268,830	263,874
うち財政調整基金	121,377	137,987	143,583	136,269

6 財減対策で捻出した財源を重点対策推進事業に重点配分

重点対策 新規・拡充事業

39事業 3億2,122万円

●5つの重点対策

新規 ・ 拡 充 39 事 業	⇒	安心・安全対策	6,245万円
		・新庁舎建設計画事業 ・地域防犯推進事業 など8事業	
	⇒	まちづくり・成長基盤整備対策	1億4,361万円
		・第5次まちづくり総合計画策定事業 ・宇治田原山手線整備事業 など10事業	
	⇒	産業・観光振興対策	3,808万円
	・町内産材活用バス停整備費補助金 ・観光振興計画策定事業 など4事業		
⇒	福祉・健康長寿対策	6,202万円	
	・多子家庭応援保育料軽減事業 ・保育所安心安全対策事業 など10事業		
⇒	教育対策	1,506万円	
	・英語力向上推進事業 ・宇治田原ふるさと文化賞実施事業 など7事業		

平成26年度当初予算 41億4,800万円

ひら
『新しい未来を拓く宇治田原予算』